

龍谷の教育

No.150

2019.Spring



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>



龍谷令和



さあ、時代を創ろう



校長

吉松 幸 宏

「新しい出発とご縁」

昨年度まで県立高校の教師や佐賀県庁の職員として38年間仕事をしていた。学校現場は26年間、他で12年間の勤務でした。最後の2年間は佐賀商業の校長として働いていました。定年と言うことで退職を迎えたところ、母校の龍谷中学・高校の校長として話があり、45年ぶりに母校に帰ってきました。年号も代わり新しい時代の幕開けの年に母校に帰る。何かのご縁だと感じています。私一人では何もできませんが、少しでも母校に貢献できればと引き受けました。

さて、昨年、龍谷は140周年を迎えた、素晴らしい伝統と歴史のある学校です。平成に入り新しいコースの新設や中学校の開校、仏教コースの新設、さらには人工芝のサッカー場や校舎等の施設整備充実と日々進化を続けています。

「自分の夢を見つけ、 生きる力を培う高校生活」

最近の「学力」の意味。

点数主義、偏差値教育などの言葉で表現される「テスト学力」、すなわち試験でよい成績を取る能力ばかりではなく、「問題解決力」、すなわち自らの

知識・技能を活用して課題を発見し、その解決に向け、多様な人々と協働できる能力が問われることとなります。

このような能力は、単に机の前に座って学ぶことだけでは決して身につけません。課外活動、ボランティア活動などを通して、身近にある社会の具体的な課題に積極的に取り組み、多くの仲間と協調しつつ意欲を持って解決していく態度を育てていくことが重要です。もう一つ「生きる力」はどのようなように培うことができるのでしょうか。

それは、自分の「夢」をしつかりと見つめ、自分の理想あるいは目標に向けて努力をする「夢を追う人」になることです。皆さんには、それぞれ「将来はこんなことをしたい」「何かになりたい」とかいう「夢」があるはずですが、この「夢」は皆さんの進路決定に直結していき、生きていく上で無限のエネルギーになります。

でも、じつとじていていたままでは、ただの「夢追い人」です。「追う」という能動的な動き、すなわち自ら学び、考え、行動することが不可欠です。常に「志」を高く夢を追ってください。

「知識を意識に、意識を行動（考動）に、行動（考動）を結果に」なんです。私も龍谷高校に夢を追って入学し、実現させることができました。皆さんの夢を実現させるために、教師集団も一緒になってがんばります。

龍谷高校の「建学の精神」は仏教精神、特に親鸞聖人のみ教えである。新年度になる度に改めてこの「建学の精神」を見つめ直す機会をいただいている。新入生や新任の先生方に向けたオリエンテーションの準備の時である。親鸞聖人のみ教えに学ばせていただくということは、同時に聖人の生き方にも接することではないだろうか。

親鸞聖人は自分自身を徹底的に見つめられ、同時にその姿こそ阿弥陀如来の教いの対象であった、という思想にたどり着いた方ではないかと思う。そこには他者への批判や糾弾ではなく、まずは自身がどうなのか、ということを深めていかれた方だろう。

「言葉」は時に他者を慰め、励まし、勇気づける。ただ用い方を誤れば他者を傷つけ、悲しませることもある。自身をどこまでも見つめていかれた親鸞聖人は、一体どんな言葉遣いだったのだろうか。私自身も「言葉」に励まされ、傷つけられ、他者を励まし、傷つけている。相手を罵る前に、まずは自分がきちんと相手を想った「言葉」を用いているのか、問いかけなければならぬ。

同 朋

受けた相手や想像することなく、言葉の矢で相手を傷つけていることが多い。「言葉」を差し出すマナーが見失われているが故だろうか。思いを相手に伝える時は「コンテンツ」以上に「マナー」が大事だと、ある本に書かれてあった。「言葉」を用いる際の、極めて重要な点を示されていると感じる。まずは言葉の届け方であろう。自分自身を振りかえって、反省の連続である。

今年度の宗教部の目標を「みんなが合掌、みんなが礼拝」と定めた。どんな人も阿弥陀如来の御前では平等であり仲間である、という親鸞聖人の「御同行・御同行」の精神を土台としている。親鸞聖人のみ教えを「ご縁に集まった仲間であるが故に、一人一人が今一度「言葉」の大切さを見直したい。それが自分自身を見つめ直す大きな一歩になると考えている。

(文責 平井)



創立の卒業式 ～新たなステージへ!～



3月1日(金)、高等学校の卒業証書授与式が仏式により挙行政され、卒業生284名が凛とした表情で式に臨みました。龍谷中学校の仏前奉仕員による献灯・献華・献香に始まり、厳かな中にも感動のある式となりました。卒業生代表の答辞を、前生徒会長足の足立誠さん(③佐大附属)が行いました。足立さんは「3年間たくさんの人との出会いを通して大きく成長できました。共に考え悩み協力しあってきた仲間たちをこれからの支えとして、それぞれの道を進んでいきます。」と堂々と述べました。3年間終礼時に歌い続けた「恩徳讃」、そして校歌を全員で斉唱し、式の幕は閉じられました。式後は各教室で最後のホームルームが行われ、卒業生は先生や級友たちと別れを惜しんでいました。それぞれの未来に向かって、新しいステージで輝け! 龍谷生!

(文責 吉田)



特別賞

- | | |
|--------|-----------------|
| 知事賞 | 江島 早紀 (③三根) |
| 本願寺賞 | 栗原 翼 (③成章) |
| 私立中高連賞 | 堤 友佑 (③龍谷) |
| 佐賀教区賞 | 嘉村 百華 (③東身賀) |
| 振風会賞 | 黒木 聖也 (③宜野湾真志喜) |
| 保護者会賞 | 安永 大起 (③成章) |
| 勝友会賞 | 安藤 千真 (③名古屋山王) |
| 勝友会賞 | 佐々木拓朗 (③城東) |

桜咲く!合格状況

* ※浪人生を含む

【国立大学】

- | | |
|---------|------|
| 九州大学 | 佐賀大学 |
| 熊本大学 | 長崎大学 |
| 鹿児島大学 | |
| 鹿屋体育大学 | |
| 筑波大学 | 茨城大学 |
| 秋田大学 | 広島大学 |
| 山口大学 | |
| 北九州市立大学 | |
| 京都府立大学 | |
| 熊本県立大学 | |
| 防衛大学校 | |

【私立大学】

- | | |
|----------|-------|
| 早稲田大学 | 同志社大学 |
| 立命館大学 | 専修大学 |
| 関西大学 | 日本大学 |
| 武蔵野大学 | 龍谷大学 |
| 福岡大学 | |
| 西南学院大学 | 西九州大学 |
| 久留米大学 | |
| 九州産業大学 | |
| 福岡工業大学 | |
| 久留米工業大学 | |
| 筑紫女学館大学 | |
| 福岡女学院大学 | |
| 九州栄養福祉大学 | |
| 九州国際大学 | |
| 九州共立大学 | |
| 純真学園大学 | |
| 聖マリア学院大学 | |
| 活水女子大学 | |
| 長崎国際大学 | |
| 熊本学園大学 | |
| 熊本保健科学大学 | |
| 崇城大学 | |
| 日本文理大学 | |
| 別府大学 | |
| 九州保健福祉大学 | |
| 帝京大学 | |
| 東京農業大学 | |

- | |
|----------|
| 多摩美術大学 |
| 成蹊大学 |
| 神奈川大学 |
| 神奈川工科大学 |
| 中央学院大学 |
| 流通経済大学 |
| 大阪医科大学 |
| 大阪芸術大学 |
| 大阪産業大学 |
| 近畿大学 |
| 京都造形芸術大学 |
| 花園大学 |
| 平安女学院大学 |
| 京都女子大学 |
| 京都産業大学 |
| 神戸女学院大学 |
| 関西国際大学 |
| 名古屋芸術大学 |
| 安田女子大学 |
| 岡山理科大学 |
| 徳山大学 |
| 梅光学院大学 |
| 徳島文理大学 |

- | |
|-----------------|
| 九州ビジュアルアーツ |
| 九州医学技術専門学校 |
| 九州観光専門学校 |
| 九州国際情報ビジネス専門学校 |
| 公務員セミナー佐賀校 |
| 公務員ビジネス専門学校 |
| 佐賀コンピュータ専門学校 |
| 佐賀県立産業技術学院 |
| 佐賀県立総合看護学院 |
| 佐賀工業専門学校 |
| 佐賀市医師会立看護専門学校 |
| 佐賀徳科衛生専門学校 |
| 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 |

【短期大学】

- | |
|--------------|
| 九州龍谷短期大学 |
| 佐賀女子短期大学 |
| 中村学園大学短期大学部 |
| 精華女子短期大学 |
| 福岡こども短期大学 |
| 西九州大学短期大学部 |
| 福岡女学院大学短期大学部 |
| 実践女子短期大学部 |

【専修・専門学校】

- | |
|--------------------|
| アイ・ビー・ビューティーカレッジ |
| エッジ国際美容専門学校 |
| 九州医療専門学校 |
| 医療福祉専門学校 緑生館 |
| 九州スクール・オブ・ビジネス |
| 九州ビジュアルアーツ |
| 九州医学技術専門学校 |
| 九州観光専門学校 |
| 九州国際情報ビジネス専門学校 |
| 公務員セミナー佐賀校 |
| 公務員ビジネス専門学校 |
| 佐賀コンピュータ専門学校 |
| 佐賀県立産業技術学院 |
| 佐賀県立総合看護学院 |
| 佐賀工業専門学校 |
| 佐賀市医師会立看護専門学校 |
| 佐賀徳科衛生専門学校 |
| 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 |
| 専門学校公務員セミナー |
| 大原簿記情報専門学校(福岡校) |
| 大村美容ファッション専門学校 |
| 中央工学校 |
| 鳥栖三養基医師会立看護高等専門学校 |
| 武雄看護リハビリテーション学校 |
| 武雄看護リハビリテーション学校 |
| 福岡MOO動物海洋専門学校 |
| 福岡ウエディング&ブライダル専門学校 |
| 福岡こども専門学校 |
| 福岡アサイン&テクノロジ専門学校 |
| 福岡フライダル&ホテル観光専門学校 |
| 福岡リゾート&スポーツ専門学校 |
| 福岡医療・スポーツ専門学校 |
| 福岡医療専門学校 |
| 福岡南美容専門学校 |
| 福岡美容専門学校 |
| 麻生医療福祉専門学校 |
| 麻生建築&デザイン専門学校 |
| 麻生公務員専門学校(福岡校) |
| 柳川リハビリテーション学院 |
| 柳川山門医師会看護高等専門学校 |

ドキドキワクワクの5日間

国内 コース

2月11日(月)～2月15日(金)の5日間、2年生は修学旅行へと向かいました。

国内は築地本願寺への参拝に始まり、新潟県津南市でのスキー研修、東京ディズニーランドでの自由行動を経て、普通科は東京スカイツリー見学、特進科は東京大学見学という内容です。「初めてのスキー体験に最初は少し怖さを覚えて苦戦しましたが、二日目にはインストラクターの力を借りずに滑れるようになり、もっと続けていたいと思いました。夜にあげたランタンは真っ白なグレンデをほのかに照らし出して、とてもきれいで幻想的でした。四日目に行ったディズニーランドはまさに夢の国で、普段の日常から私たちを連れ出してくれました。とても素敵な思い出になりました。」と松澤美織さん(③城北)。

海外研修はタイにて行われました。王宮や世界遺産見学を行うだけでなく、現地の大学生と一日交流をしたり、象乗り体験や、伝統舞踊の鑑賞をしたりとさまざまな体験をできる行程でした。「私は初め国内に行くつもりでしたが、一度きりの人生、今しかできない体験があるだろうと思い、海外へと変更しました。今では変更して正解だったと思っています。英語で会話をし、異文化に触れることで、日本との違いをたくさん発見できました。私たちの「当たりまえ」は、特別なものだったんだと感じました。最終日には日本に帰りたくないとさえ思いました。振り返ってみると、とても有意義な3泊5日だったと思います。一生の思い出です」と小柳沙季さん(③鹿島西部)。

どちらのコースもとても充実していたようで、生徒たちにとって特別な思い出となったことでしょう。

(文責 石橋)

海外 コース

～修学旅行～

ようこそ龍谷へ！

入学式

4月9日（火）、穏やかな春の日に龍谷中学校・高等学校の入学式が盛大に挙行されました。真新しい制服に身を包み、高校生290名、中学生10名が龍谷の仲間入りをしました。

高校生の杉田こころさん（①城南）と中学生の吉田理沙子さん（①赤松）が、新入生代表の挨拶を行いました。杉田さんは「3年間勉学に励み、新しい入試制度にも対応できる真の学力を身につけたいです。」と力強い声で宣誓していました。

これから3年間、6年間の新しい生活が始まります。何事にも全力で臨み、有意義な学校生活を送ってください。

（文責 吉田）



大塚製薬株式会社様との 連携協定締結!!

2019年2月に大塚製薬株式会社様と「健康増進、教育推進に関する提携協定」を締結いたしました。科学的根拠に基づいた生徒たちの健康増進や、スポーツ振興など6つの連携・協力事項を確認し、今後協力をしながら教育の向上に努めていきます。また、サッカー部の胸スポンサーとして「BODYMAINT E」が入ることになりました。

二人三脚で将来の佐賀を、そして日本を担う人材の育成に精進していきます。（文責 不二見）



1年生願正寺参拝

4月16日（火）、高校1年生対象の願正寺参拝が行われました。佐賀市の願正寺内に設立された「振風教校」が本校の原点であり、毎年新入生がこの大切な場所に最初にお参りすることが恒例の行事になっています。広い本堂内と厳かな雰囲気緊張をされている様子の生徒も見られましたが、全体的に落ち着いて講師の話聞いていました。宗教部長から本校の「建学の精神」について、宗教教育の意義など、学校生活を送る上でまずは理解しておきたい内容を伝えられました。

新入生の皆さんもこの日を原点として、これからの学校生活に臨んでいってほしいと思います。

（文責 平井）



各学年主任から

成長していく君たちへ



1年学年主任
紀 伊 孝 哉

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。新元号「令和」という新しい時代にかわり、これから3年間、色々なことを学び、様々な経験を通して素敵な大人になっていくことかと思えます。

生活していく中で、「感謝する気持ち」を表現すること。「素直に正直に行くこと」を心がけて取り組んでください。

"None of us is as good as all of us." という言葉があります。全員で団結することが大きな力となります。また、私たちはみんな龍谷高等学校の一員であり、全員で団結しながらも「私がやらなきゃ誰がやる」というぐらいの気持ちを持って生活して行って欲しい、と思っています。一緒に作り上げていきましょう。

「出会い」を育てて
いける人に



2年学年主任
不 二 見 如 奈

チャンスはそこらへんにたくさん転がっていますが、それに気づいて、拾って、活かせる人は実はそんなにいません。「出会い」は一つのチャンスです。人と出会う、出来事に出会う。その一つ一つのチャンスをどれだけ育てていけるのか。人や出来事との出会いは決して偶然ではなく、自分にとって何か意味があること。何十億という人間がいても、何十億という出来事が起こっても、その中で出会うものはほんの一握りのものです。その「出会い」を大切にすることで、一つのご縁に感謝し、育てながら、自分だけではなく周囲に、社会に広げられる人に成長しててください。

可能性を現実へ



3年学年主任
長 田 信 一

元号が「平成」から「令和」へ変わり、高校3年生の皆さんにとっては、進路決定という人生の大きな岐路となる学年が始まりました。1年後の自分がどのような生活を送っているかは、これから勉強、部活へどのように向き合い、高校生活を充実させていくかで決まります。17・18歳である皆さんには、「若さ」という勢いのある大きな可能性というエネルギーがあります。そのエネルギーを悔いが残らないよう進路実現に向けた努力に注いでほしい。一日一日の努力の積み重ねが将来の自分を創っていきます。時代が変わるときに新しい進路を切り拓いていく立場になったのも一つの縁だと思います。前を向き、必死に努力して新しい自分を創りあげてください。

部 活 部 ニュース

テニス (4月までの結果)

◇第66回春季九州山口高校生学年別テニス大会
(3月29日～31日 九州国際テニスクラブ)

・新3年生男子ダブルス

優勝 上瀬 翔瑛 (③大 利)

剣道

◇九州高等学校選抜剣道大会 (2月9日～10日
べつぶアリーナ (大分県))

・男子団体

興賀田湧作 (③白 石)

白武 憲人 (③白 石)

片桐 秀斗 (③白 石)

中村 悠斗 (③北 方)

ベスト8

信貴 錬 (③京都・久御山)

高瀬 怜央 (③龍 谷)

三宅 涼介 (②愛知・伊勢山)

樋口 大和 (②香 根)

本間社太郎 (②三 瀬)

・男子個人

ベスト8 興賀田湧作 (③白 石)

自転車

◇平成30年度全国高等学校選抜自転車競技大会
(3月21日～24日 北九州メディアアドーム、
熊本県五木村特設ロードコース)

・男子個人ロードレース

28位 甲斐 隼人 (③伊万里) 2時間00分13秒

・男子ケイリン

予選敗退 中村 亮太 (③土浦六)

空手道

◇第43回佐賀県空手道選手権大会 (4月7日
神埼市次郎体育館)

・少年男子組手個人戦

準優勝 浦霧 証知 (③龍 谷)

・少年男子形個人戦

「私たちが未来を変えるー!」～SDGsへの取組～

副校長 陣内 陽子

「貧困」「地球温暖化」「戦争」「テロ」「暴力」「震災」「きれいな水を守ること」

これは、中学校に入学したばかりの新生入生に対して、次のような問いを投げかけたときの生徒の反応の一部です。

問い：「予測不能と言われる現代社会が抱えている課題、私たちが解決しなければならぬ課題にはどんなものがありますか？」

あなたは、この問いに対してどんな課題を思い浮かべますか？もちろんこの問いに正解などありませんがSDGs (Sustainable Development Goals) : 「持続可能な開発目標」は、世界が抱える課題解決への入り口となるはずですよ。

全国及び海外において25の姉妹校が所属する龍谷総合学園では、SDGsを推進しています。また、本校でも、昨年度、高等学校特別進学科1年生においてSDGsの理念：「誰一人取り残さない」というパートナーシップを軸とした取組がGlobal Leadership

Projectのなかで推進され、生徒の活動意欲が高まりました。中学校でも授業などでの取組が始まりました。

そこで、今年度から本校では非営利活動法人「地球市民の会」のサポートを受け、SDGsの理念を土台として総合的な学習・探究の時間を中心に教育活動を展開していきます。SDGsのことを学び、生徒たち一人一人が「私たちが未来を変える」という意識を持つことで世界とつながり、行動が変容することを期待します。

SDGsは国際連合に加盟する193の国々が2030年までに達成する開発目標のことです。SDGsは「17の目標」と「169のターゲット」から成り立っています。17の目標(ゴール)それぞれにいくつかのターゲットが定められています。ターゲットとは、「いつまでに、何を、だれが、どのようにして取り組むか」という具体的な達成項目をあわらしたものです。

SDGsの17の目標は、平和や暴力、格差の拡大、環境問題など広い範囲の問題に取り組むもので、それぞれに密接に関係しあい、「経済」「社会」

「環境」の3つのバランスがとれるように設定されています。

SDGsの17の目標は、「5つのP」の要素のいずれか一つ以上に関わっています。5つのPとは、People(人間) Planet(地球) Prosperity(豊かさ) Peace(平和) Partnership(パートナーシップ)です。

SDGsの根底にある理念「誰一人取り残さない」(Leave No One Behind)は、目標17のパートナーシップと深く関連する、とても重要で力強い意志を表したものです。すべての人のための目標の達成をめざし、もっとも弱い立場の人々に焦点をあてます。だれかを取り残したり、だれかの犠牲をもとにしたりして達成するゴールはありえないという考えです。

龍谷中学校・高等学校の生徒のみならずが活躍する2030年はすぐそこに来ています。あなた方一人一人が未来をつくる主役です。
“Future is in your hand.”
(未来はあなたの手の中にある)

3位 木原 拓己 (③多良) 少年女子形個人戦
優勝 村田 紅葉 (②肥前)

野球

◇第14回九州地区高等学校野球佐賀大会(3月21日～4月6日) みどりの森運動球場、ブルースタジアム他)

龍谷 12対2 唐津西
龍谷 0対3 佐賀学園

書道部

◇第38回全国書道展覧会

・条幅の部
特選 片江未来美 (③神埼)
・半紙の部
奨励賞 梶島 雪乃 (③東与賀)

準田 早希 (③龍谷)
片江未来美 (③神埼)
鬼塚 菜穂 (②龍谷)
松枝 光 (②川副)
宿利 芽生 (②三橋)

私たちが未来を変える!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Leave No One Behind
誰一人取り残さない

龍谷中学校 龍谷高等学校

飛躍

～新たな時代へ～

龍谷中学校 2019 一学期スタート

中学校

希望を胸に、 新生活はじまる

～入学式～

4月9日(火)、本校文化体育館にて中高合同で入学式が執り行われました。第26期生10名は期待と不安を胸に、新たに龍谷中学校の仲間として入学しました。新入生を代表して吉田理沙子さん(赤松小)は、「私たちは、新たな仲間や

先輩、先生方との出会いを大切に、この龍谷中学校で多くのことを学び、心身共に大きく成長していきたいです。そして将来、自ら考え行動し、自分で自分の道を切り開いていける人になりたいです」と、希望に満ちた力強い声で宣誓しました。一人ひとり、これからの活躍が楽しみです。

(文責 松尾)



出会いの奇跡に感謝!!

～新入生宿泊研修～

4月11日(木)～12日(金)の2日間、「大川市ふれあいの家」(福岡県大川市)にて新入生宿泊研修(1泊2日)を行いました。

「出会いの奇跡に感謝しよう」をテーマに、龍中生としての心構えを学びました。また、オリエンテーション、野外活動、クラスメートとの意見交換などの学級活動を通じて、初めは緊張していた雰囲気も徐々にうちとけて、あつという間に親睦が深まりました。

特に、1日目夜の生徒と教職員による対抗ゲームは、時間が過ぎるのを忘れて大いに盛り上がりました。

《生徒の感想》

これからは友達や先生に頼ろうとする前に、もう一度これは自分でできるか考えて行動しようと思いました。

岡 夏未(①東与賀)

一人ひとりが責任を持って自ら行動すること、相手の良いところをたくさん見つけることの大切さを学びました。

小川 なな(①千代田西部)

今回、友達との協力と自主行動の大切さを学びました。これから笑顔あふれる学級にしたいです。

梶原 佑月(①神埼)

時間を守り、自分で考えて行動しなければならないということ。そして、仲間と協力することの大切さを学びました。

古賀百和花(①東青振)

みんなと協力することの大切さと、責任の重さについて学ぶことができました。

藤戸 久遠(①千代田東部)

中学校生活では、「切り替え」を早くするということを目標に頑張りたいです。

古川 美月(①松浦)

「責任」と「笑顔」の大切さを学びました。一人の責任は、みんなの責任だと思いました。

宮崎 凛(①大詫間)

中学三年間、「自分で考えること」を心に留め、楽しい生活を送っていきます。

吉田理沙子(①赤松)

コミュニケーション能力と、人に優しく接することの大切さを学びました。

内田 尚希(①篠山)

チームワークを大切にして、これからの学校生活を積極的に頑張ります。

豊川 真(①山口)

(文責 松尾)



出会い、刺激、感動

オーストラリア語学研修



3月3日(日)〜12日(火)の10日間の日程で、中学3年生(現高校1年生)はオーストラリア語学研修に出かけました。

英語研修を中心に、乗馬体験、フィールドワーク、ビーチ散策。そして、学校交流。同世代との異文化交流に心を弾ませました。ソーラン節、日本剣道形、書道パフォーマンスを披露し、日本文化も伝えてきました。何よりもいい経験になったのは、ホストファミリーと過ごした時間です。あつという間の10日間でしたが、別れ際にホストマザーに「また帰っておいで」と抱擁され、涙する姿もありました。新しい家族ができた喜び、また離れて初めて再確認した日本の家族への

「また帰っておいで」と抱擁され、涙する姿もありました。新しい家族ができた喜び、また離れて初めて再確認した日本の家族への



感謝。語学力向上はもちろん、心の成長につながりました。4月から高等部に進級し、さらに飛躍していきます。
(文責 徳森)

新入生歓迎

バスハイク

4月26日(金)、全学年そろって新入生歓迎バスハイクに出かけました。最初に福岡市民防災センターを訪れ、学年を越えての縦割り班で行動しました。いろいろな災害の模擬体験を通して、常日頃から防災意識を高めておくことの大切さを学びました。

次に福岡市動植物園に移動し、いろいろな動物を見学しました。改めて動物たちの様子やしぐさを見てみると、新たな発見や感動があり、生徒諸君も興奮した時間を過ごしていました。

(文責 松尾)



龍短のオープンキャンパスは毎月開催！

2019年度はオープンキャンパスを毎月開催します。

学科・コース紹介、各学科での体験授業や個別相談会をはじめ、将来の進路を考えるためのキャリア講演や奨学金の紹介講座、在学中の先輩達とのトークイベントなど、毎回、内容盛り沢山で実施します。

2019年度 オープンキャンパス 開催予定

5/18

(土)

13:30 ~

6/8

(土)

10:00 ~

7/14

(日)

10:00 ~

8/4

(日)

10:00 ~

9/14

(土)

10:00 ~

内容の詳細や参加のお申し込みは、下記の龍短LINEまたは
リクルートスタディサプリ【<https://shingakunet.com/gakko/SC000749/>】から

2019年度パンフレットが完成しました！

龍短の新しい取り組みが満載です。オープンキャンパス会場やガイダンス会場でも配布していますので、ぜひお越しいたき手に取ってみてください。

※龍谷高校の先輩達もたくさん載ってますよ!!



学園だより

九州龍谷短期大学

TEL 0942・855・1121

鳥栖市

佐賀龍谷学園が設置する学校
(短大・高校・中学)に、兄弟
姉妹が二人以上在籍する場合、
二人目以降のお子様の入学金が
減免されます。
詳しくは、各学校事務室まで
お問い合わせください。

LINE@

@k-ryukoku

九州龍谷短期大学のLINEアカウントをご存知ですか？

受験を検討されている皆さんに、オープンキャンパスやガイダンスの出展情報、入試情報など様々なお知らせをお送りします。

「九州龍谷短期大学」で検索後、ぜひ「友だち追加」してください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



春の日ざしの中で
ゆっくりと
成長しています

初めての仏さまのお仕事。
みんな頑張りました(5歳児)



朝からスヤスヤお昼寝の時間(0歳児)



新しいクラスの先生と一緒に(4歳児)



新しいおもちゃで遊んだよ(1歳児)



新しいクラスでみんなでお参り(2歳児)



初めてのこども園。楽しい遊びが
いっぱい見つかるといいね(3歳児)